



<http://www.gerodontology.jp/>



日本老年歯科医学会
Facebook



日本老年歯科医学会
Twitter



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.49

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2022年9月30日発行

【本号のトピックス】

第34回本会学術大会および第33回日本老年学会総会案内
第12回IAGGアジア/オセアニア国際老年学会議案内／キキとももの活躍紹介
新委員会が始動！／学会成果物紹介／専門医活動レポート／支部セミナー案内

一般社団法人日本老年歯科医学会第34回学術大会のご案内 #JSG23 — 生きるための、しあわせのための「くち」を守る —

大会長 菊谷 武

(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長・教授)

口は食べる、話すというだけでなく、生きるためのそしてしあわせのための器官ともいえます。昨今では、口腔の大切さが歯科以外の多くの職種で注目されています。第34回学術大会は、第33回日本老年学会総会として7学会の同時開催となります。学会期間中は、他学会の先生方の講演、発表を聴講することが可能であり、他職種の先生方とディスカッションできる2年に一度のたいへん貴重な機会となります。また、日本老年学会総会の合同シンポジウムでは全15テーマのうち、本会からは7テーマに演者が登壇する予定です。オールフレイル、認知症、在宅診療、エンドオブライフ等々、いずれも老年歯科に携わる皆様にとって重要なテーマであり、多職種で取り組むべき課題の多さを感じています。会場となるパシフィコ横浜は、遠方からのアクセスも抜群であり、立地としては最高です。来年はぜひとも横浜の地にお集まりいただき、リアルでの学術大会を楽しみましょう！

テーマ：生きるための、しあわせのための「くち」を守る
会 期：2023年6月16日（金）～18日（日）



会 場：パシフィコ横浜ノース

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

◆演題募集期間：2022年12月1日（木）～
2023年1月31日（火）

◆詳細は HP をご確認ください。

(<https://www.gerodontology.jp/event/002078.shtml>)



第33回日本老年学会総会



第33回日本老年学会総会 HP：
<https://rounen2023.jp/index2.html>

第12回 IAGGアジア/オセアニア国際老年学会議 (IAGG-Asia Oceania Regional Congress 2023)のご案内

2023年6月に第12回アジア/オセアニア国際老年学会議を開催することになりました。

最長寿国として高齢者医療制度、介護保険制度、認知症施策推進大綱などを世界に先駆けて整備し、先端テクノロジーの高齢者医療、福祉、住まい、移動への応用も盛んなわが国の現状と今後急速に高齢化が進むアジアオセアニア各国と比較議論し、未来構想を互いに描く絶好の機会と思っております。

特にフレイル研究のなかで注目を集めているオーラルフレイルは本邦発の世界に誇れる画期的な概念で歯科医療のなかで注目され、医科歯科連携のキーとなっています。フレイルはさらに、看護、リハビリ、栄養、介護の専門職が共通の基盤で老年学として集学的に、学際的に集う象徴的な例であります。

会議では、世界の一流科学者の特別講演を予定する他、歯科や口腔機能に関するシンポジウムも複数用意し、他にも目が離せないプログラムを準備しています。皆様の参加を心からお待ちしております。

【開催概要】

日程：2023年6月12日（月）～15日（木）（4日間）
会場：パシフィコ横浜 ノース
会長：鳥羽研二 先生（東京都健康長寿医療センター）
テーマ：For Enhanced Wellbeing in Later Life
through Innovation and Wisdom Sharing
大会 HP URL：https://www.iagg2023.org/

大会 HP QR コード：



演題募集開始のご案内

<https://www.iagg2023.org/index.html>

演題募集期間：2022年9月14日（水）～11月30日（水）

<https://www.iagg2023.org/call-for-papers.html>

参加登録期間：

（事前）2022年9月中旬～2023年2月28日（火）
（スタンダード）2023年3月1日（水）～6月11日（日）
（当日オンサイト / オンライン）2023年6月12日（月）
～6月15日（木）

※登録期間により参加費が異なりますのでご確認ください。



学会公式キャラクター・キキとももの活躍紹介

キキ（長寿の喜寿から喜喜）



もも（長寿の百寿から百）

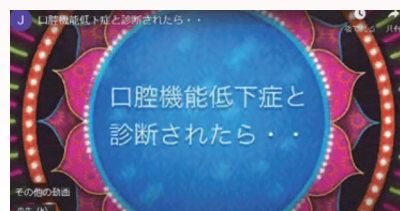


キキともも
新潟バージョン

本会活動や会員のみならず、高齢者の方々を含む皆様が明るく楽しく末永くの願いをこめております。

学術大会の開催地となった新潟バージョンとして学術大会を盛り上げ、口腔機能低下症啓発動画（下記）にも登場しました。歯科医療従事者も患者さんも元気

にするキキとももを今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。





新委員会「地域包括ケア委員会」「病院歯科委員会」 「特任委員会(認知症関連)」が始動しました！

理事長 水口俊介

本年度より、標記の新たな委員会が立ち上がりました。

まず地域包括ケア委員会です。支部・地域保健医療福祉委員会を、支部活動にかかわる部分を支部運営委員会とし、地域保健にかかわる業務を多職種連携委員会と合体させ地域包括ケア委員会といたしました。名前のとおり地域包括ケアシステムの完成に大きく貢献する業務を担う委員会です。委員長には多職種連携委員会の委員長でいらっしゃる、原土井病院の岩佐康行先生をお願いいたしました。支部運営委員会の委員長には本会の支部組織を強力にまとめ上げてくださった、東京都健康長寿医療センターの平野浩彦先生に引き続いてお願いいたしました。

病院歯科委員会は前期までの特任委員会(病院歯科)を正式な委員会としたものです。委員長には特任委員会から引き続いて、浜松市リハビリテーション病院の大野友久先生をお願いいたしました。病院歯科に関するさまざまな調査や日本歯科医学会プロジェクト研究など多くの仕事を遂行中です。老年歯科にとって病院歯科はたいへん重要な部分です。多くのエビデンスが生成され高齢者の健康に貢献してくれるでしょう。

特任委員会(認知症関連)は、「認知症において口腔領域にかかわる事項については本会が責任学会である！」という決意を示すため(むろん示すだけではありません)に立ち上げました。認知症患者の歯科治療だけでなく、栄養摂取の問題など本会が果たすべき役割はたいへん多いと思います。委員長には当該分野の第一人者である東京都健康長寿医療センター研究所の枝広あや子先生をお願いいたしました。まさに本会のプレゼンスを示す委員会だと思います。

会員の皆様、新しい委員会の活動によりしくご協力のほどお願い申し上げます。

<地域包括ケア委員会>

委員長を拝命しました、岩佐康行です。どうぞよろしくお願いいたします。本委員会は、旧支部・地域保健医療福祉委員会が発表した「地域包括ケアシステムの中で歯科職種は居場所をみつけれられるか」(老年歯学第37巻第2号E14-18)の実現を目標の1つとしています。新型コロナで加速した社会の変化に対応し、システムが構築される2025年の先を見据えた委員会活動の礎を築きます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(委員長:岩佐康行)



<特任委員会(認知症関連)>

このたび特任委員会(認知症関連)委員長を仰せつかりました、東京都健康長寿医療センター研究所の枝広あや子です。当学会はこれまで認知症の人の歯科医療等に関する立場表明や、ガイドラインの発行を通じて、会員はじめ国民の皆様に認知症の人の生活の支えになる歯科医療のあり方を示してきました。本委員会では、国策としての認知症施策だけではなく、学術団体としての知見の整理や啓発のあり方を検討していく所存です。皆様、どうぞお力をお貸しください。何卒よろしくお願いいたします。

(委員長:枝広あや子)



<病院歯科委員会>

このたび、「特任」の文言が取れた「病院歯科委員会」委員長の大野友久です。病院歯科は高齢者歯科医療の縮図ともいえるフィールドです。委員会活動を通じて、高齢社会に貢献する病院歯科のあり方、そしてその効果などを模索・検証したいと考えています。今後ともぜひご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(委員長:大野友久)



学会成果物のご紹介

『老年歯科医学 第2版』



(<https://www.ishiyaku.co.jp/search/details.aspx?bookcode=458700>)

5年に一度の改訂という基本に則り、多くの先生方のご協力のもとに第2版を仕上げました。少子高齢化は相変わらずですが、予測されたほどには進んでいません。しかし、全身的疾患の様子は少々変わりました。ほぼすべてのガイドラインを参考に書き換えました。歯科医療では、口腔機能低下症が保険に収載され、各所で診療が始まりました。

老年歯科医学は、社会学的分野・基礎医学的分野・臨床分野と、とても広い分野にまたがります。会員皆様の方を集結して素晴らしい学問に育て上げていただければと願っています。
(森戸光彦)

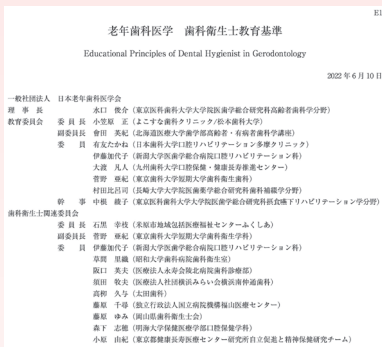
『2022年保険改定対応 かかりつけ歯科医のための口腔機能低下症入門』



(<https://www.dental-diamond.co.jp/item/1079>)

口腔機能低下症のマニュアルともいえる本書は、第3版となりました。診断に必要な7つの検査と、保険の算定方法について、写真や図を多用して詳細かつわかりやすく掲載されています。また、診断後の口腔機能管理の方法や歯科衛生士との取り組み方についても解説されています。飯島勝矢先生による「健康長寿の鍵は“食力” 人生100年時代におけるオーラルフレイル予防」「口腔バイオフィルム感染症」なども追加され、最新の情報にアップデートされています。ぜひ、日常臨床にご活用ください。
(上田貴之)

『歯科衛生士教育基準』



(<https://www.gerodontology.jp/publishing/education.shtml>)

超高齢社会の現在、診療室だけでなく、在宅、病院、施設など、歯科衛生士の活躍の場が広がりました。そのため歯科衛生士には、口腔、摂食嚥下、全身疾患、心理、行動科学、介護、法規など、多岐にわたる知識の修得が求められます。本会が本年6月に公開した「老年歯科医学 歯科衛生士教育基準」は、自己研鑽の指標となるだけでなく、認定歯科衛生士（老年歯科）の取得、社会連携活動、人材育成などにも活用することができます。（小笠原 正）

※上記教育基準および、その他学会編纂の教育基準については、左記URLよりご覧いただけます。

『老年歯科医学用語辞典』(第3版)が2023年3月に発行されます

学術用語委員会委員長 大神浩一郎

日本では未曾有の高齢化がさらに進み、介護分野のみならず保健・医療分野においても、2025年問題や2040年問題について、さまざまな施策がとられているところです。日々新たな専門用語が導入されていることに伴い、第3版では新たな専門用語に学術的な解説を加えております。

本会会員（会費完納者）には寄贈いたしますので、ぜひご活用ください。

また、周囲で本会への入会を検討中の方がいらっしゃいましたら、ぜひこの機会に入会されますようお願いいただければ幸いです。

専門医活動レポート

鎌田政善先生
(群馬県・とちはら歯科)

私は 65 歳で大学を定年退職し、群馬県太田市で歯科医院を開院して 8 年目に入ったところです。

大学では歯科補綴学を専門として研究、教育、臨床を行っていました。また、教員数が少なかったこともあり、高齢者歯科学の講義も担当していました。

定年後に少しでも地域医療に貢献できればと思い、老体に鞭打って開業いたしました。当初群馬県には老年歯科医学会の指導医が 2 名しかいませんでしたので、私が群馬支部長を担当することになりました。

支部長としては、これまで群馬県歯科医師会の会員の先生や、群馬県および他職種の皆様方の協力により 3 回の支部研修会を開催して、医科歯科連携や多職種連携による地域医療連携の大切さを啓発してきました。2023 年 2 月 11 日に第 4 回目の支部研修会を開催する予定です。また、個人的には在宅医療も積極的に行い、エビデンスだけではなく、ナラティブな医療の提供も行っております。特に在宅での口腔健康管理も重要な取り組みの一つとして、今後も地域医療に貢献していきたいと考えています。



訪問先での様子



平塚正雄先生
(沖縄県口腔保健医療センター)

老年歯科専門医の専門性は高齢者への安心安全な歯科診療の提供にあると思います。私は大学卒業後、母校の歯科麻酔科と高齢・障害者歯科で全身管理学とスペシャルニーズデンティストリーを学びました。その過程で脳卒中患者のオーラルマネジメントを究めたいと思い、福岡市内のリハビリテーション病院に歯科開設時から定年までの 20 数年間勤務し、臨床研究にも取り組みました。本年 4 月からはご縁があって、同じ老年歯科専門医の加藤喜久先生とともに沖縄県口腔保健医療センターで高齢者を含めた障害者の歯科診療に従事しています。診療以外では歯科医師会地域連携室委員、臨床研修歯科医や九州では唯一の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程（熊本保健科学大学）の学生に脳卒中患者のオーラルマネジメントについて教育しています。この認定資格を取得した看護師は、主に九州地区の急性期病院 SCU などでもオーラルマネジメントの指導者としても活躍しています。私は、老年歯科専門医は地域における多職種連携のフロントランナーとして活動する使命があると思っています。



当センターのスタッフ（麻酔室にて）



生活期脳卒中患者の診療風景

支部セミナーのご案内

島根支部後援セミナー

「令和4年度認知症患者QOL維持・向上推進研修会」

日 時：2022年11月6日（日）9:00～12:15

Web 配信（Webex 使用）

主 催：島根県歯科医師会、島根県高齢者福祉課、
島根県経口摂取支援協議会

岡山支部共催セミナー

「病院歯科介護研究会第24回総会・学術講演会」

日 時：2022年11月20日（日）10:00～16:15

Web 開催

主 催：病院歯科介護研究会

石川支部共催セミナー

「いい歯の日お口の健康フェスティバル」

日 時：2022年11月6日（日）10:00～12:00（予定）

Web 配信

主 催：（一社）金沢市歯科医師会

三重支部共催セミナー

「東海オーラルマネジメント研究会」

日 時：2023年2月26日（日）9:30～12:40（予定）

会 場：ウインクあいち小ホールおよび

Zoom ウェビナーによる Web 開催

主 催：東海オーラルマネジメント研究会

編集後記

ニュースレターをお届けします。お届けできるコンテンツが少ないこの時期、来年度6月12日からパシフィコ横浜で順次開催されます第12回 IAGG アジア/オセアニア国際老年学会議と第34回日本老年歯科医学会学術大会、第33回日本老年学会総会のお知らせ、新たに発足し活発な活動を開始している3つの新委員会（地域包括ケア委員会、病院歯科委員会、特任委員会・認知症関連）からのメッセージ、専門医の先生方の活動報告、その他学会公式キャラクター・キキとももの活躍紹介等々多岐にわたる内容となっております。ますます活発になっている本会の活動をご確認ください。（糸田昌隆）

発行人 水口俊介

編 集 （一社）日本老年歯科医学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込TSビル （一財）口腔保健協会内

E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp

